

平成29年度 平成30年度

決算・予算

〔速報版〕

平成30年6月

箕面都市開発株式会社

平成29年度決算の概要

1 平成29年度予算と決算を比較すると

- 予算編成時及び上半期決算時の見通しに比べ、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも、**予算を大きく上回り、経営は順調**です。

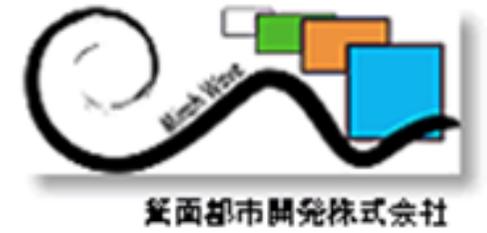
2 調停条項と比較すると

- 期末資金残高について、**調停条項の想定推移を大きく上回りました**。
- 純資産額については、平成24年度に債務超過を解消し、繰延税金資産^(※1)を除いても、**大幅に増加**しています。
- いずれの利益(営業利益・経常利益・当期純利益)においても、**調停条項を大幅に上回りました**。

(※1):繰延税金資産とは…将来の会計期間に帰属すべき税金費用(損金)を当期に前払いしたと考え、これを繰り延べ処理することにより生じる資産のことをいいます。

3 今後の展望

- いずれの利益においても、調停条項や平成29年度予算に比べ大幅に上回る順調な経営となっています。これは、駐車場賃貸事業における稼働率が高水準で推移したことなどが主な要因です。
- 引き続き、**キャッシュフロー安定化のための経営努力**を行います。



平成29年度

決算

1. 平成29年度決算

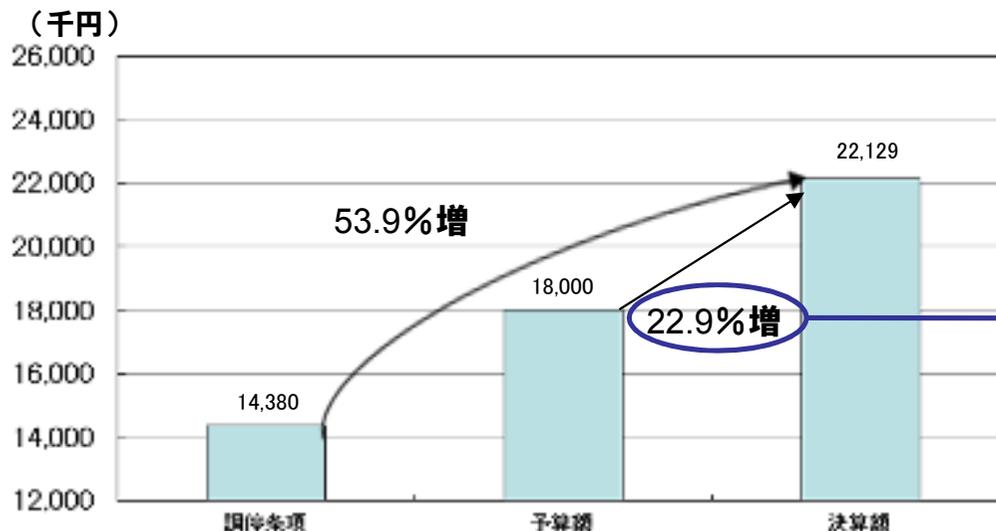
(単位:千円・%)

	平成29年度実績			平成29年度決算の比較			
	調停条項	予算額	決算額	予算との比較		調停条項との比較	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	106,880	128,500	130,031	1,531	1.2	23,151	21.7
営業利益	14,380	18,000	22,129	4,129	22.9	7,749	53.9
経常利益	12,599	16,064	19,255	3,191	19.9	6,656	52.8
当期純利益(※)	6,175	8,880	13,238	4,358	49.1	7,063	114.4
期末資金残高	85,573	108,193	122,454	14,261	13.2	36,881	43.1
純資産額	28,114	52,534	56,892	4,358	8.3	28,778	102.4

(※)法人税等調整額を除いています。

法人税等調整額とは…税務上の益金、損金で算定される課税所得と企業会計上の収益、費用で算定される利益との差額を調整する会計処理のことをいいます。

2. 営業利益（本業利益）の比較



決算においては、すべての項目において、調停条項を大幅に上回りました。

要因

駐車場賃貸事業が好況であったことに加え、不動産取得に係る費用の一部を資産へ組み替えたことにより、経費が大幅に減少したことが大きな要因です。

3.貸借対照表

(単位:千円・%)

	平成28年度		平成29年度		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
資産合計	525,346	100.0	609,031	100.0	83,685
流動資産	115,087	21.9	131,918	21.7	16,831
固定資産	410,259	78.1	477,113	78.3	66,854
有形固定資産	375,693	91.6	438,636	91.9	62,943
無形固定資産	296	0.1	296	0.1	0
投資その他の資産	34,270	8.3	38,181	8.0	3,911
負債合計	456,278	86.9	522,813	85.8	66,535
流動負債	29,593	6.5	42,564	8.1	12,971
固定負債	426,685	93.5	480,249	91.9	53,564
純資産	69,068	13.1	86,218	14.2	17,150
純資産(繰延税金資産除く)	43,654	—	56,892	—	13,238

不動産の取得により**固定資産が増加**しました。

不動産取得資金の借入により、**固定負債が増加**しました。

参考1：経営内容を判断するポイント

■会社の経営状況は期間損益の状況を見るだけではなく、資金計画を見ることで経営状況を判断できます。

★調停条項の着実な履行を判断するポイント

- ① 期末にどれだけの資金残高があるのか
- ② 純資産額(貸借対照表の資産合計－負債合計)による判断

.....➔ **資金計画で判断することが適切**

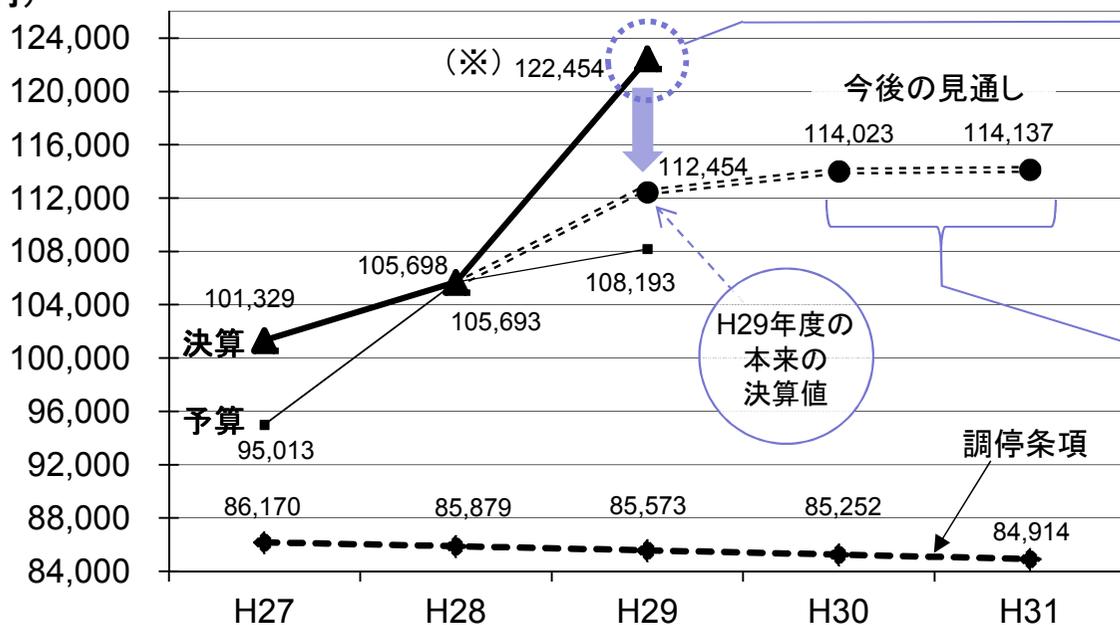
参考2：資金計画の見込み

(1) 期末資金残高の推移

(単位：千円)

	各年度の予算・決算実績				平成30年度	平成31年度
	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
調停条項	86,170	85,879	85,573	調停条項	85,252	84,914
予算	95,013	105,698	108,193	今後の見通し (平成29年度の決算値による)	114,023	114,137
決算	101,329	105,693	122,454			

(千円)



※平成29年度中に弁済予定の市借入金支払日が平成30年度当初にずれ込んだため、平成29年度末時点の期末資金残高が一時的に多くなっています。この支払遅れがなかったら、平成29年度の本来の決算値は「112,454千円」でした。

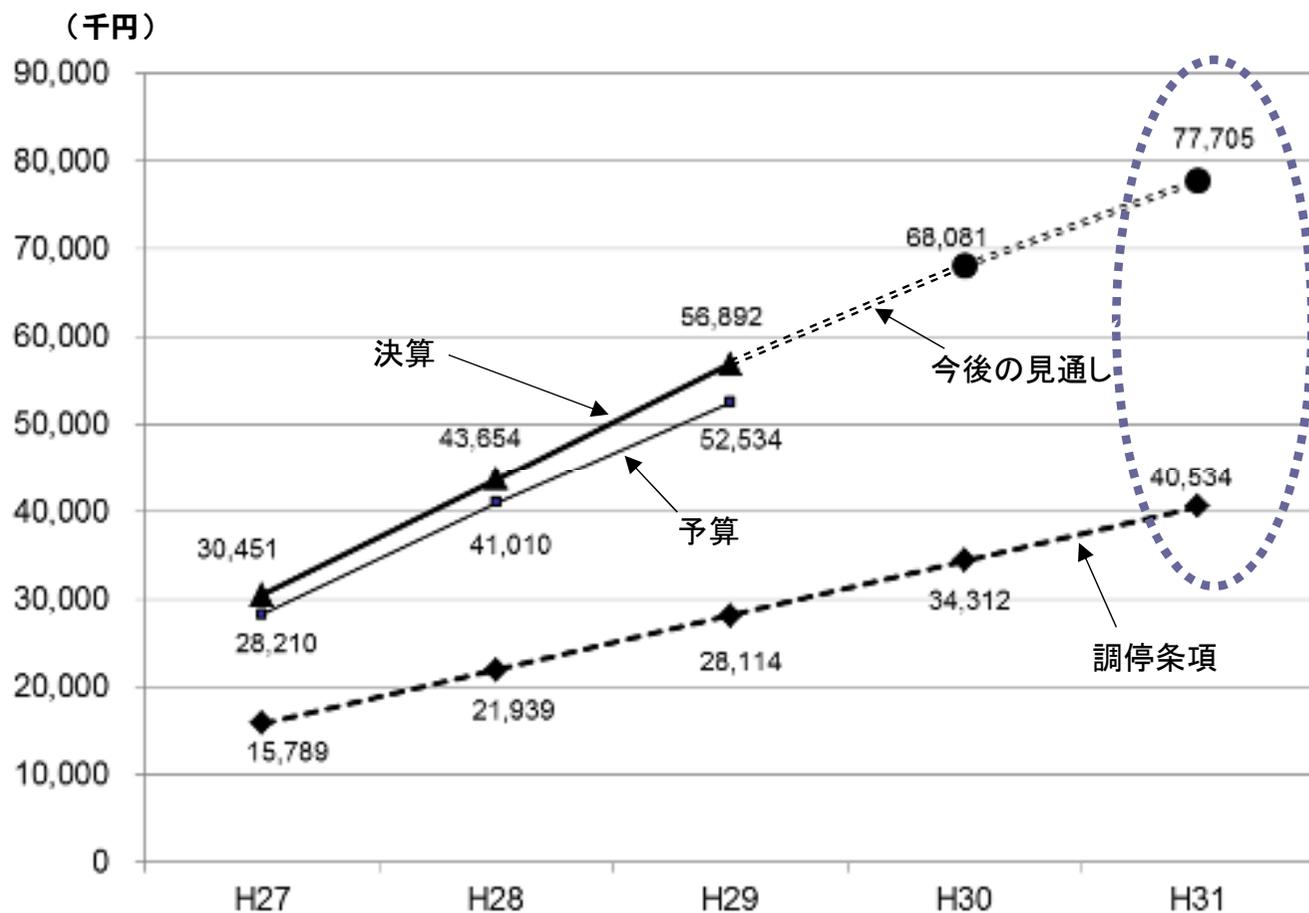
新規不動産取得に伴う借入金の返済を行うため、期末資金残高の伸びは緩やかになるものの、調停条項は大幅に上回る予定です。

(2) 純資産額の推移

(単位:千円)

	各年度の予算・決算実績				平成30年度	平成31年度
	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
調停条項	15,789	21,939	28,114	調停条項	34,312	40,534
予算	28,210	41,010	52,534	今後の見通し (平成29年度の決算値による)	68,081	77,705
決算	30,451	43,654	56,892			

(各数値は繰延税金資産を除いています)



調停条項の想定推移を大幅に上回る予定です。



平成30年度

予 算

1. 平成30年度予算と調停条項

(単位:千円・%)

	調停条項 (平成31年3月期)		平成29年度 予算		平成30年度 予算		平成30年度予算の比較	
	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	調停条項との 増減率	平成29年度 予算との増減率
売上高	106,880	—	128,500	—	127,000	—	18.8	▲1.2
受託料収入	64,647	—	79,723	—	76,749	—	18.7	▲3.7
所有床賃貸収入	6,907	—	8,551	—	8,551	—	23.8	0
土地賃貸収入	23,640	—	22,776	—	24,410	—	3.3	7.2
受取手数料収入	2,296	—	2,500	—	2,290	—	▲0.3	▲8.4
文化・交流C売上	9,390	—	14,950	—	15,000	—	59.7	0.3
営業利益	14,380	13.5	18,000	14.0	23,000	18.1	59.9	27.8
経常利益	12,639	11.8	16,064	12.5	19,955	15.7	57.9	24.2
当期純利益	—	—	—	—	—	—	—	—
当期純利益 (法人税等調整額除く)	6,198	5.8	8,880	6.9	11,189	8.8	80.5	26.0

2. 売上高・利益の推移

- ・平成29年度決算において、各利益とも平成29年度予算を上回りました。
- ・平成30年度予算において、平成29年度決算と比較すると、売上高は下回り、営業利益・経常利益は上回る予定です。売上高は主に駅前駐車場受託内容の見直しにより減少するものの、営業利益及び経常利益は不動産取得による土地賃貸事業の増収や業務内容のスリム化により増加する予定です。
- ・経営内容の判断指標である期末資金残高や純資産額は、順調に増加推移する予定です。(6・7頁参照)

■売上高

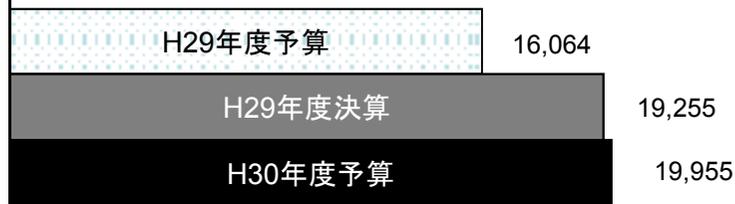
(単位:千円)



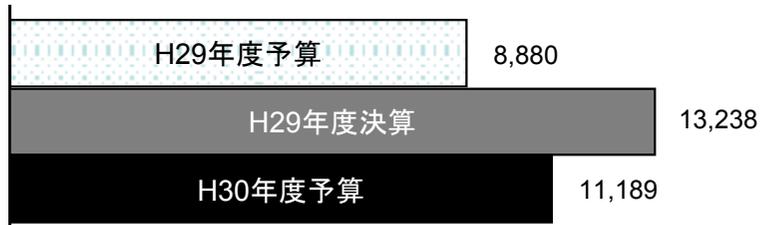
■営業利益



■経常利益



■当期純利益



H29予算とH30予算の比較・主な要因

前年比1.2%減

- 駅前駐車場受託事業の減収による

前年比27.8%増

- 不動産取得に伴う土地賃貸収入の増収による

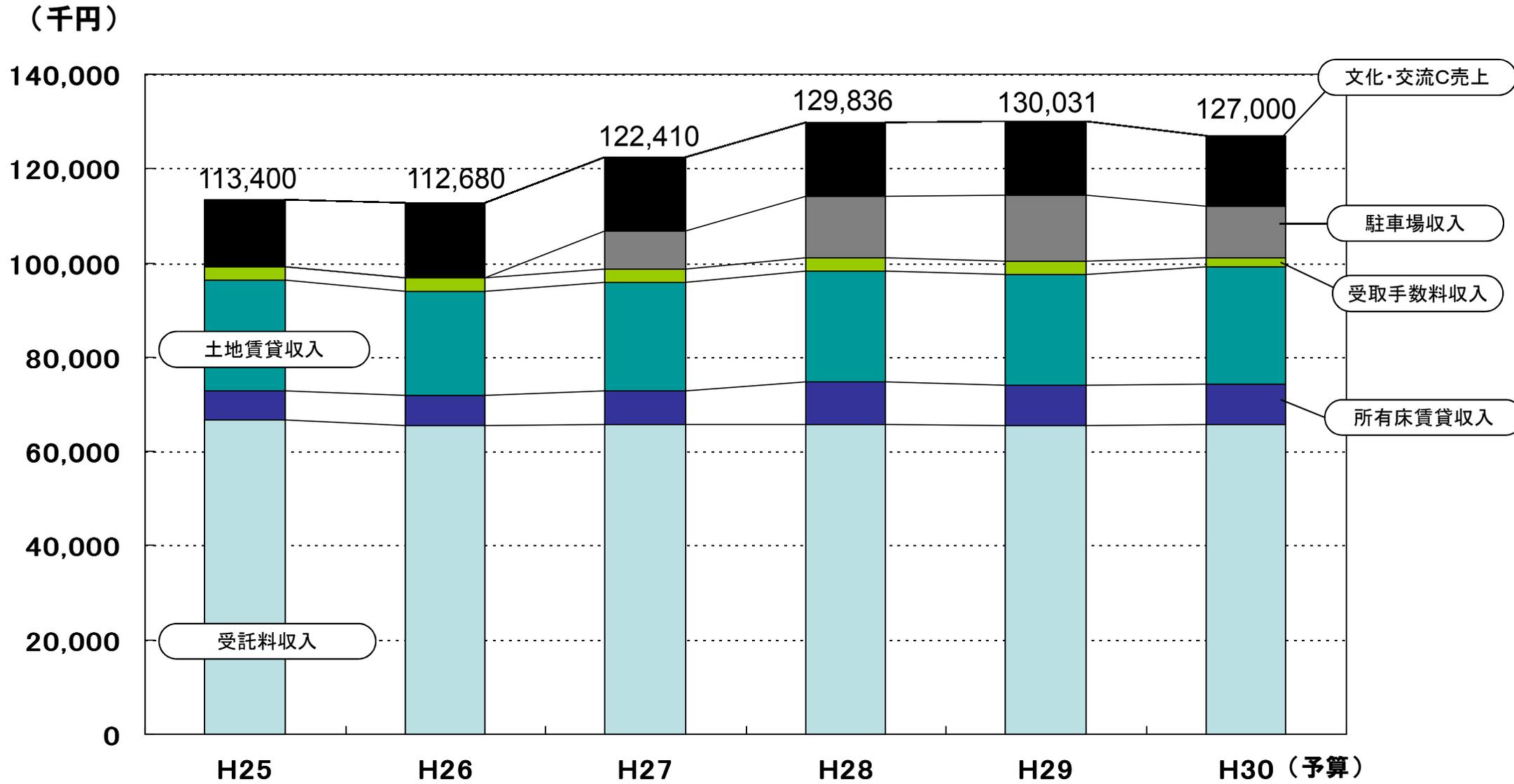
前年比24.2%増

- 営業利益の増益による

前年比26.0%増

- 経常利益の増益による

参考1：事業別売上高の推移



参考2：売上高増減の主な要因

